

OD-Monitor で分光光度計との数値のズレを補正する手順ついて

2023年12月15日版

1. OD-Monitor で測定しながら培養をします。

- a) OD-Monitor の電源を入れて 1 時間の暖機運転をします。
- b) OD-Monitor で設定をした培養条件(フラスコサイズ,振とう速度,振幅)に違いが無いようにします。
- c) OD-Monitor で三角フラスコ(C は試験管)を入れて、OD が 1.0 になるまで培養をします。※1,2
 ※1 測定精度が±10%以内になる範囲は OD が 0.5~1.8 の範囲が目安となります。
 ※2 IPTG の添加や培養終了の目的の場合は、その値で補正をする事をお勧めします。
- d) 培養した溶液を、所有されております分光光度計に 1cm 角のキュベットに培養液を入れ OD 値を測定します。

2. OD-Monitor の OD 値の補正操作



- a) HOLD キーを押し、測定を中断します。
 フラスコからサンプリングを行い、分光光度計で測定をします。
 分光光度計の測定波長 600nm で差を確認して下さい。



- b) ▽キーで今回、補正を行う 02 の Ch にカーソルを合わせます。
 Hold 画面で△▽キーを同時に押す。
 通常画面では『Alarm』の箇所が『Correct』に変化します。
 (この資料での 02ch の OD 値は 1.08)



- c) SELECT キーを押して画面『>』のカーソルを『Correct』の所まで移動をさせます。



- d) △や▽キーで画面の OD 値を分光光度計で測定をした値に合わせます。(1.08 から 1.00 に補正します)
 分光光度計の OD 値が 1.00 として、OD の値を変更しました。
 『Correct』の値は電源を切っても保持されます。



- e) 入力の完了は SELECT キーで Ch の位置にカーソルを移動して △▽キーを再度、同時に押す事で表示を戻して完了します。
 START キーで測定を再開します。
 ※ケーブルの接続順を変更すると、センサーとの組合せが変わり
 もう 1 度、数値を変更し直す必要がございますのでご注意下さい。